

取組の概要

取組の概要 : 主食用米の高付加価値販売
 計画作成主体 : 鳥取県農業再生協議会
 対象品目 : 土地利用型作物(稲)
 (産地面積:1,923ha)
 主な取組主体 : 鳥取西部農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業(農産物加工処理施設)
 状況

ポイント

主食用米の一部をギャバ米加工し、機能性食品として付加価値をつけて高単価で米穀販売専門店、百貨店、スーパー等に販売することで、生産農家の所得向上を図る。

※ギャバとは、正式名称は「γ-アミノ酪酸」。継続的な摂取により、血圧上昇抑制、精神安定作用、肝機能改善等の効果が期待される。

地区の概要



鳥取県
 鳥取県西部地区
 (米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、日野町、日南町、江府町)

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

事業対象面積 : 2,070ha
 販売額 : 103,034円/10a

〈目標:H30年度〉

事業対象面積 : 1,923ha
 販売額 : 113,471円/10a



推進体制

地域の関係者(鳥取西部農業協同組合、2市6町1村、県西部総合事務所)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 農協・生産者・行政とが一体となって需要に即した主食用米の生産に努め、飼料用米の生産拡大等により耕作放棄地の増加を抑え水田機能の維持を図っている。
- 高付加価値による主食用米の新たな販路を拡大し、生産農家の所得向上を目指している。

事業効果

- 他地区に先駆けた新たな機能性食品の販売により、主食用米全体の販売単価の底上げを図る。
- 米穀販売専門店、百貨店、スーパー等販路の拡大により当地区の米に対する評価を高め、生産農家の所得向上に寄与する。

～主食用米販売額の増加～

